

鴉の贄鴉の帰りを待つ如く

枝の先に月の出を待つ鴉の贄

皮付のままに干されて鴉の贄

鴉の贄死後を明るく枝の先

月よりの使者に捧げし鴉の贄

目口鼻胴体手足鴉の贄

青空に死臭抜けたる鴉の贄

鴉の贄月の光に孤独なり

吹き降りに口を開けたる鴉の贄

鴉の贄乾びて死臭なかるべし

鴉の贄月の光に冷ゆるかな

万歳の小さき両手や鴉の贄

鴉の贄修行の僧の如く痩せ

地に影の届かぬ高さ鴉の贄

ふつくらと腹を刺されし鴉の贄

新しき有刺鉄線鴉の贄

雨風に縮み縮みて鴉の贄

腹を見せ手も足も見せ鴉の贄

日に一度夕日を浴びて鴉の贄

鴉の贄土に還るを許されず

長き尾を垂るる哀れや鴉の贄

げつそりと秋日に痩せて鴉の贄

枝よりも色濃くなりぬ鴉の贄

長き尾の曲つてゐたる鴉の贄

鴉の贄夕日に浮び上りけり

友もなく月を見てゐる鴉の贄

枝に刺さる長き蛙や鴉の贄

青空に瞑目つづく鴉の贄

鴉の贄頭がもげてしまひさう

伸び伸びと長き蛙や鴉の贄

青空にまた新しき鴉の贄

黒髪を垂らせし如く鴉の贄

跳ぶ如く長き蛙や鴉の贄

青空を呪ふが如く鴉の贄

鴉の贄皮一枚で繋つて

鴉の贄長き尻尾を垂れにけり

直立の長き蜥蜴や鴟の贄

これ見よとばかりに長き鴟の贄

垂れ下る長き蛙や鴟の贄

枝の先に魚滴るや鴟の贄

水を出し魚の驚き鴟の贄

見晴らしの良きに刺されて鴟の贄

見世物の如くに揺るる鴟の贄

鴟の贄ここは魚の刺されある

鴟の贄長き蛙の吊られたる

枯れ果てて枝より細し鴟の贄

鴉の贄鴉の帰りを待つ如く

友もなく月を見てゐる鴉の贄

万歳の小さき両手や鴉の贄

日に一度夕日を浴びて鴉の贄

鴉の贄月の光に孤独なり

ふつくらと腹を刺されし鴉の贄

鴉の贄夕日に浮び上りけり

鴉の贄月の光に冷ゆるかな

腹を見せ手も足も見せ鴉の贄

鴉の贄死後を明るく枝の先

雨風に縮み縮みて鴉の贄

長き尾を垂るる哀れや鴉の贄

青空に死臭抜けたる鴉の贄

地に影の届かぬ高さ鴉の贄

鴉の贄長き尻尾を垂れにけり

鴉の贄乾びて死臭なかるべし

鴉の贄土に還るを許されず

直立の長き蜥蜴や鴉の贄

鴉の贄修行の僧の如く痩せ

贄いくつ忘れし鴉の高音かな

これ見よとばかりに長き鴉の贄

新しき有刺鉄線鴉の贄

鴉の贄頭がもげてしまひさう

見晴らしの良きに刺されて鴉の贄

げつそりと秋日に痩せて鴉の贄

鴉の贄皮一枚で繋つて

枝の先に魚滴るや鴉の贄

青空にまた新しき鴉の贄

皮付のままに干されて鴉の贄

水を出し魚の驚き鴉の贄

青空を呪ふが如く鴉の贄

目口鼻胴体手足鴉の贄

鴉の贄ここは魚の刺されある

枝の先に月の出を待つ鴉の贄

青空に瞑目つづく鴉の贄

鴉の贄長き蛙の吊られたる

2023・10・20【全然堂歳時記秋

【鴟の贄】

選42句

組14ホ

BIZ 明朝

2023年10月20日

21:43

へ2

く

桐10

枝に刺さる長き蛙や鴟の贄

伸び伸びと長き蛙や鴟の贄

垂れ下る長き蛙や鴟の贄

跳ぶ如く長き蛙や鴟の贄

枯れ果てて枝より細し鴟の贄

枝よりも色濃くなりぬ鴟の贄